

# 東 叡

今  
和

第50号

# 東叡 No.50 平成31年度 令和元年 目次

挨拶 会長就任のご挨拶…………… 東叡会会長 本田 勝彦 4  
 新しい時代の日本、そして上野高校… 母校校長 江本 敏男 5  
 年会費納入のお願い…………… 会計部 4～5  
 校内より 一体感ある学校に／  
 平成31年3月 入試結果 …… 副校長 澁谷 徹 6～7  
 平成30年度『東叡会』総会報告…………… 8～9  
 『上高会』散歩会案内 文学歴史散歩コース…………… 10  
 追悼 三好健老師逝去…………… 〈新18期〉岩佐 佳英 11  
 運営委員会 上ノ原山荘視察・研修旅行の報告… 企画部 各務 通子 12～13  
 支部だより…………… 14～19  
     軟式テニスクラブOB会…〈新24〉戸谷／関西東叡会…〈新14〉伊藤  
     地学部シニアOB会…〈新8期〉津田／東叡囲碁会…〈新16〉大橋  
     東叡法曹会…〈新40〉宇田川／東叡会卓球部…〈新30〉小坂  
 各期だより…………… 20～25  
     新3—中島／新5—谷澤／新7—柴田／新10—奥田  
     新11—小平／新20—服部・栗原／新21—各務  
 令和元年に手書きを見直す…………… 会報部 高宮 華子 26～27  
 執行部・委員会各部から…………… 28～32  
     高柳副会長・内藤副会長・委員長・企画・総務・会報  
     会計(期毎の会費納入状況と高額納入者)  
 教職員の異動・編集後記・奥付…………… 33  
 平成30年度会費納入者名…………… 34～35  
 新71期 新入会員名簿…………… 36  
 付録：東叡会誌【東叡】第1号～50号の軌跡

裏表紙写真-平成30年度総会出席の皆さん、デザイン・カット：〈新16〉宮崎 薫

東京都立 校 歌 藤村 作<作詞>  
 上野高校 田村 虎藏<作曲>

♩=120  
 mf

すーぎし じだいに となえつ つ あたらし  
 きよに ささげたる たーかき しせいのかににお  
 う いにしえ えどのーしずめのち とうーえ  
 ざ んの おかのーうーえー そそ  
 りて たーつは わが ぼこ うー

過ぎし時代に殉へつ、  
 新しき世に捧げたる  
 尊き至誠の香に匂ふ  
 昔江戸の鎮護の地  
 東叡山の丘の上  
 そ、りて立つは我が母校  
 屋上高く登り行き  
 霊峰富士に対ひつ、  
 三千年の源遠き  
 国の生命と国民の  
 雄々しき明き潔き  
 日本精神をたたふかな  
 學海風は荒べども  
 人生谷は深けれど  
 人を頼まぬ雄心に  
 力協せて捧げ持ち  
 仁愛正義赤白の  
 旗影遠く靡かせん

# 令和元年に手書きを見直す

〈新46期〉高宮 華子

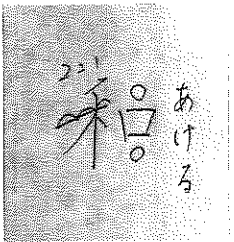
東叡会の皆さま、会報部 副部長 高宮です。一昨年より、この栄えある東叡にて美文字のコラムを書かせていただくこととなりました。

先般の運営委員会でも、「今年もぜひコラムを」というお言葉を頂戴いたしました。引き続き、精いっぱい書かせていただきます。

さあ、令和だ。

書道家として、日々美しい文字の書き方を拡める努力をしている私が、この新元号発表に際し、感慨深く感じる出来事があった。四月一日、新元号が発表されるということで、主宰する書道教室に企業とのタイアップと某テレビ局の取材が入った。テーマは、「新元号を美文字で書く。」

当日は午前十一時半ごろに新元号が発表されるということで、朝八時から四人の取材陣が入った。そこから、まずテレビを設置し、新元号発表をみんなで見られるように配置。次に、机の上に、書画カメラを置いた。書画カメラとは、見た目は電気スタンドのような形だが、手元の動きをしっかりとらずに撮影できる優れたもの。美文字の撮影



あける

るように書くとき、非常に形のよいものになる。たったこれだけでキレイに書ける。なるべく簡潔に短く。ポイントが伝わる

ように、真剣に取材に取り組んだ。

オンエア当日、某F局の朝のニュースで、それが放送された。美しい新元号の書き方の動画とともに、「新元号をきっかけに、字というものを見直してもらいたい」という私のコメントが流れた。それはまさに、私が伝えたいことだった。

新元号が発表されてから、巷ではこんな談義がなされていた。とある職場では令の字をどう書くかという話題になり、令はパソコンの文字であり、書ききでは令のひとやねの下はマと書くというのが大方の共通の認識になっていた。

ただ、官房長官が掲げた毛筆文字も令に近い書き方であったし、どっちが正しいのだろうか？もしくはどっちもよいのだろうか？

テレビでも有識者の先生方が、次々と令の字の形について解説される場面もあり、新元号に対する意識や関心の高さが伺えた。皆さんは、令の書き方について、どうお

には必須アイテムだ。

準備万端。発表を見守る。発表予定時間の午前十一時半を少し過ぎたころ、ついに官房長官が、例のアレを持って登場。

「新元号は、令和です。」

教室内が、ワツとなった。テレビに映る新元号が書かれた筆文字は、端正で美しかった。



新元号の由来はもちろん、小学生でも読める漢字を使った中で、これだけ日本らしさを表現できることに感動した。

さっそく机に向かう。私の役割は、この新元号をいかにキレイに書けるか、その書き方を伝えること。

とはいえ、私も当然、その場で初めて知った新元号。どうバランスを取ればいいのかと瞬間的に考える。なにはともあれ、まず

考えになったのだろうか？どの形が正しいと考えられただろうか？

この答え、正しくはどっちも、である。

「令和」の令という字は、形の違う複数の書体があり、正解や決まりなどは特になく。文化庁によると、「令」という字の形においては、形が多様な漢字の代表的なひとつとして、平成二十八年に出された指針では、「字の形の違いは習慣によるもので、本来は問題にする必要がない」と明記している。

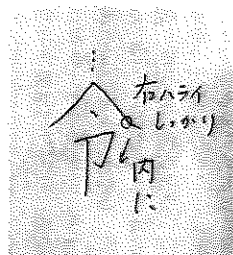
とはいえ、複数形が存在していると迷ってしまうのも事実。そこで、小学校では、複数ある書体の場合、第一優先の形というものを定め、統一して指導される。まだ小さな子どもたちに

「これでもいいよ」と言っただけでは、なかなか決められず、練習段階に入れないからだ。ちなみに「令」という字は、小学校四年生で習う字とされ、学習指導要領では、ひとやねの下は、点として、カタカナの「マ」に標準をおいて指導するようにとされている。私たちが小学生的頃は、このように習ったはずであり、だからこそ、官房長官の掲げた「令和」の文字はまた、新鮮に映ったに違いないのである。

「令和」の書き方について、いろいろと書かせていただいたが、新元号が発表されなければ、こういった話題も日常で話題に

は中心が大事。

「令」という字は、一画目の左ハライと二画目の右ハライをのびやかにゆったり書くのがポイントだ。そしてその接点を中心にくることが



大事。左ハライより右ハライが下の方にくることも大事なバランスだ。ここをま

ず外さないように、丁寧に書く。

次に三画目の点をしっかりと中心にくるようにつつ。四画目は折り返しの際で一旦休み、内側に入れる。五画目の縦画は中心よりわずかに左から始め、曲がらないように書くことを心がける。これですっきりとバランスが整う。

「和」は、へんとつくりから成るので、調和が大切な字となる。のぎへんの二画目の左ハライは、横の方にするどくはらう。

さらにのぎへんの交差する部分の割合を二対一にするど、すっきりとしたバランスになるので、ぜひ覚えておいてほしいコツである。

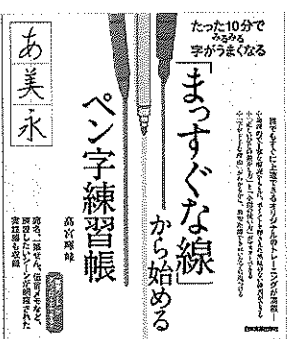
口は、上でもなく、下でもなく、のぎへんの高さのほぼ中央にくるようにする。そして、口の終わりの横画がわずかに右に出

なることはなかったはずである。

字に関心を持ち、手書きの際には書き方に少し意識を向ける。たったそれだけで、字というものは格段に美しくなるし、何より伝えた相手に心が届く。書道家のはしくれとして、こういった流れが起ころるのは、本当に嬉しいことである。

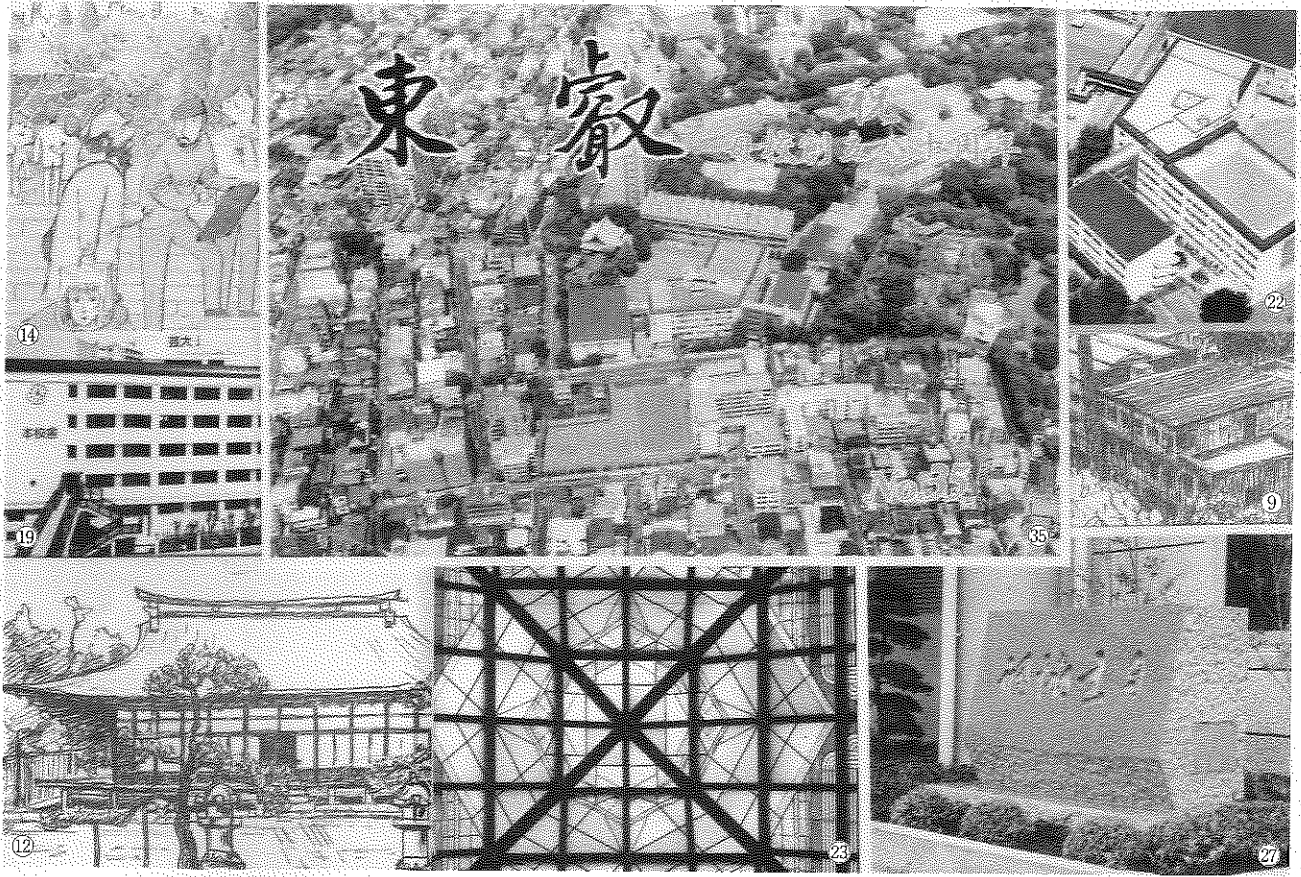
東叡会の皆さんは達筆の方が多くい何っています。これを機にぜひ、今までのコツを参考に実際にペンを持って書いてもらえたら嬉しいと思う。

高宮 暉峰



(高宮華子)

日本書道教育連盟  
師範 読書法会  
会友



## 東叡会誌【東叡】第1号～50号の軌跡

- 第1号 昭和41年 飛鳥齊会長 矢谷芳雄校長 表紙色-抹茶 題字-〈旧6〉真木宣武 絵-〈旧13〉吉田漱  
 \*宮沢元会長の急逝を悼みて〈副会長・旧2〉木村憲八 \*母校から離れてみて〈元職員・旧6〉真木宣武 \*母校の沿革 \*卒業生の進路  
 随想 終戦前後-上高生気質〈現職員〉齊藤純/思い出すままに〈旧10〉仲田進一/忘れた頃に〈新3〉  
 各期だより 旧3-鈴木/15-内川//新3-島田/6-五十嵐/16-上野 〔中島清成〕
- 第2号 昭和43年 山崎正一会長 森杉多校長 表紙色-ブルーグリーン 題字-〈旧6〉真木宣武 絵-  
 \*母校上野高校を去って一年〈元職員・旧19〉石黒富美男 \*上高生気質ⅡⅢⅣ 〔新16〕上野篤  
 懐郷 伝統と創造と〈旧職員〉古松彰/上高を憶う〈旧職員〉荒川潤/松と公孫樹と車前草と〈旧職員〉  
 随想 別れのブルース〈前副会長・旧2〉木村憲八/柔道部の思い出〈旧5〉山崎英男/〔渡辺弘一郎〕  
 三十年の日々〈旧11〕守岡隆/東叡法曹の状況〈新6〕宇田川孝雄  
 各期だより 旧2-木村/8-大塚/20-福井//新2-神谷/15-島田/20-木田 〔萩原清光〕
- 第3号 昭和45年 山崎正一会長 森杉多校長 表紙色-ブルー 題字-〈旧6〉真木宣武 絵-〈新21〕  
 特集1 学園紛争 母校紛争の経過〈職員・新3〕堀内康宏/紛争始末記〈職員〕大井一道/  
 進路状況報告 学校声明 〔わが紛争〕新22〕洪井龍二  
 特集2 体育園裁判 体育園紛争の経過〈職員〕桶笠茂/体育園設立の歴史〈職員・新6〕渡辺弘/  
 生徒からみた平林寺体育園づくり〈副会長・旧3〕沢島栄次郎 上ノ原山荘ご案内  
 懐郷と随想 山からおりてみて〈旧職員〕田中雄吉/心に抱きとめて〈旧職員〕遠藤哲夫  
 ある青春の場面〈新4〕柿沼通康/トウキョウウ育ち八代目〈新13〕石黒優  
 各期だより 旧17-高木//新19-福岡/21-北条/22-金山
- 第4号 昭和47年 東城一郎会長 犬飼基義校長 表紙色-ピンクページ 題字-〈旧6〕真木宣武 絵-  
 \*こころのつながり〈新会長〕東城一郎 \*ごあいさつ〈学校長〕犬飼基義 〔新21〕吉沢正明  
 \*体育園問題始末記〈新3〕平井二郎 \*上ノ原の散策〈旧2〕木村憲八 \*上ノ原と湯の丸  
 懐郷 来る日も来る日も〈前校長〕森杉多/過ぎし時代に〈旧職員〕高木四郎 〔新21〕宮倉通子  
 随想 ふりかえる坂道〈前会長・旧2〕山崎正一/最後のドラマ〈新24〕川島サチ子/赤と青の世代  
 各期だより 旧7-藤川/10-仲田/19-芹沢 〔新24〕平石忍
- 第5号 昭和49年 東城一郎会長 犬飼基義校長 表紙色-橙 題字-〈旧6〕真木宣武 絵-〈新26〕武田均  
 \*母校創立50周年を迎え〈会長〕東城一郎 \*ごあいさつ〈校長〕犬飼基義  
 懐郷 三代の校長に仕えて〈旧職員在職25年〕長谷部晃/霹靂二十有四年〈旧職員在籍24年〕間宮靖/  
 生徒として職員として〈旧職員在籍13年・旧8〕大塚誠造/私の上野高校時代とその後の数学研究〈旧1〕矢野健太郎  
 \*母校の沿革 同窓会の歩み  
 母校創立50周年記念座談会〈昭和49年8月29日〔東京・春日〕喫茶『写楽』にて  
 『東叡会の歩み』出席者 初代会長〈旧1〕吉川時哉/会長〈旧3〕東城一郎/〈旧6〕真木宣武/〈旧19〕石黒富美男

